

第19回全国高等学校情報教育研究会全国大会（神奈川大会）開催に係る補助業務の
協力先募集について

全国高等学校情報教育研究会全国大会は、加盟団体である研究会・部会等による立候補制により開催されています。しかし、コロナ禍を経てICT環境等が大きく変化したことにより、立候補していただける開催地が減少している状況にあります。

また、全国高等学校情報教育研究会（以下全高情研）の事務局業務は、これまで東京都の情報科教員が中心となり、公的支援を受けず、自主的に運営を行ってききましたが、現在ではその負担が大きくなってきているのが実情です。

そこで、来年度開催予定の第19回神奈川大会においては、以下の補助業務について、企業団体等に御協力をお願いできないか検討することといたしました。主催は全高情研ですが、実際の運営は共催である神奈川県高等学校教科研究会情報部会が担います。

主催者と共催者（加盟の研究会）が連携し、今後の開催地における業務負担の軽減を図るための取り組みとして、ここに協力募集のお知らせをいたします。

1. 大会運営について

加盟団体からの全国大会開催地立候補申請書の提出を全高情研事務局に行い、全高情研事務局が開催地を決定する。開催地の加盟団体は大会運営について責任を持ち、全高情研事務局と綿密に相談の上、全国大会を開催する。

2. 大会にかかる費用について

企業からの協賛金を大会開催費用とする。当初の期間は全高情研事務局から運営費を貸し付ける。大会終了後は決算報告を行い、全高情研事務局に余剰金とともに戻入することとする。大会に支出できる費目は第18回大会までの支出例に従うものとする。例年と異なる支出に関しては主催者、共催者で協議する。

3. 共催者が行う業務で補助業務として考えているものは以下のとおりである。

- ① 企業への協賛依頼・受付
- ② 大会冊子の原稿作成
- ③ 行政、学会等（文部科学省・教育委員会・学会等）への後援申請・実施報告
- ④ 大会開催に向けた手順書の作成
- ⑤ その他（協力先との話し合いで出てきた事項）

4. 協力先の条件

- ① 第19回全国高等学校情報教育研究会全国大会（神奈川大会）の開催趣旨に賛同し、共催者の指示の元、主催者が設定する金額（10万円を予定）で役務を提供できること。申請にかかる通信費や消耗品等の実費に関しては共催者の会計に所定の形式で申請することができる。（業務請負

のためのパソコンや高額なものの購入は不可)

- ② 協力者は業務の進捗状況及び収集したデータや関係先とのやり取りのメールすべてを主催者、共催者と共有するとともに、クラウド上で最新のデータに主催者、共催者、協力者が共通でアクセスできるように保つこととする。
- ③ 大会運営に関して知り得た情報は本大会運営目的以外には利用しないこと。また、大会が終了した際には、全てのデータを共催者に提出するとともにすべてのデータを消去すること。
- ④ 協力先には、協賛団体と同様に1ページの広告をプログラムに掲載し、企業展示を1ブース提供するとともに協賛団体として社名等に掲載する。

5. 協力先の決定について

第19回全国高等学校情報教育研究会全国大会（神奈川大会）の協力を申し出るものは、**10月10日までに全高情研事務局宛て（info@zenkojoken.jp）にその旨を伝えること。**

申し出を主催者、共催者で検討の上、協力先を決定し詳細事項の確認を行い協力の締結を行う。

今後の、全国大会継続と開催地の負担軽減の状況を検討して、次年度以降の方針を決定するものとし、本協力が自動的に次年度以降も継続するものではない。

6. その他

本件に関する質問事項等はメール（info@zenkojoken.jp）で受け付ける。回答までに日数を要する場合がありますので、余裕をもって対応すること。

【補助業務の詳細】

① 企業への協賛依頼・受付

前年度の実行委員会から過去実績を提供し、企業への協賛依頼を行う。また本大会の開催趣旨に賛同する企業等にアプローチし、協賛企業を共催者とともに開拓する。企業への依頼文の作成等は実行委員会が行い協賛申請を受け付けるとともに、プログラム作成に必要な原稿等を取りまとめる。その他詳細は共催者と協議し適切に進行する。

② 大会冊子の原稿依頼から、校正とりまとめを行い、入稿用PDFを指定された期日までに作成共催者に電子データで提出する。大会冊子のボリュームは過去のAmazonでの冊子を参考にする。

大会冊子（参考：第18回大会では約100頁）

- ・発表原稿、基調講演原稿の依頼・収集
- ・挨拶文依頼・収集(全国高等学校情報教育研究会長、開催地の代表)
- ・企業広告の依頼・収集
- ・原稿のPDF化と整形
- ・表紙デザイン（ここに付いては共催者と協議）

Amazonへの販売依頼については、主催者または共催者が行う。

③ 行政、学会等（文部科学省・教育委員会・学会等）への後援申請・実施報告

前年度の実行委員会から、文部科学省・教育委員会・学会等への後援申請の情報提供を協力者に行う。申請は共催者の指示の元で行い、協力者は各後援団体の書式に合わせ申請の代行を行う。また同様に、大会についての実施の案内を行政、学会等に行う。実施報告書は共催者が作成し、主催者が確

認し、協力者は各後援団体の書式に合わせた資料を作成し送付する。

④ その他（協力先との話し合いで出てきた事項）

本業務協力は、開催地の業務軽減を目的としており、それに資する提案は主催者、共催者と協力者の間で協議し、前向きに検討し進めていくこととする。

大会運営に向けて共催者が求める業務を協力先が円滑に履行できないと共催者が判断した場合は主催者と協議の上、協力先との関係を解除することができることとする。

【本件に対する問合せ先】

全国高等学校情報教育研究会事務局

東京都立小平高等学校

指導教諭 小松 一智

info@zenkojoken.jp